

# 来週の「売り物記事」はこれ



2020年2月28日号 毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

人類と感染症の戦いは永遠に続く

夕刊特集ワイド 3月2日(月)



人類は太古の昔から数々の感染症に苦しめられては、公衆衛生や医学の進歩で対抗してきました。今度は、新型コロナウイルスです。発生源の中国では肺炎による死者が相次ぎ、国内でも犠牲者が出ている新たな脅威に、どう向き合えばいいのでしょうか。2014年に出した著書「感染症の世界史」で今回の事態を「予言」していた環境ジャーナリストの石弘之さん(79)に聞きます。

早期発見のための検査 前立腺がんにも有効?

くらしナビ面 4日(水)から

高齢化や食生活の欧米化などのため、前立腺がんの患者が国内で増え続けています。ただし前立腺がんは、進行していなければ根治することも可能です。シリーズ「がん大国白書——患者100万人時代に備える」では、高齢の男性に多くみられる前立腺のがんを3回にわたって取り上げます。初回は、早期発見に広く使われているPSA(前立腺特異抗原)検査について、その有効性や安全性に迫ります。



論点 学校休校どう考える

オピニオン面 4日(水)



新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、政府の要請に応じて全国各地の学校が休校を始めます。専門家に諮らず突然示された政府の判断に、学校現場だけではなく家庭や社会にも混乱が広がっています。異例の要請は、なぜこのタイミングで出されたのでしょうか。社会的な影響はどこまで想定されていたのでしょうか。3人の識者の分析を伺います。

福島県双葉町の一部で避難指示解除

1面、3面 4日(水) 5日(木)

東京電力福島第1原発事故で全域避難が唯一続く福島県双葉町で4日午前0時、避難指示が一部解除されます。事故当時、放射性物質による汚染が深刻で、立ち入りが厳しく制限されてきた「帰還困難区域」の一部も初めて解除されます。同区域は、公営住宅といった復興拠点を整備しており、JR常磐線・双葉駅周辺で2022年春、住民の帰還を目指します。



## 米大統領選スーパーチューズデー

1面など 5日(木)

11月の米大統領選に向けた民主党候補の指名争いは現地時間3日、14州などで予備選や党员集会が集中する「スーパーチューズデー」を迎えます。大票田の西部カリフォルニア州や南部テキサス州の予備選も含まれており、今後の指名レースの行方を左右する、まさに「決戦の火曜日」です。富豪のブルームバーグ氏はこの日に照準を合わせて参戦。混戦の様子を詳報します。

## 新たな研究続々と。アイデアはタコの足から

科学面 5日(木)

情報処理やロボットの研究分野で、なじみ深い生物の「タコ」が注目を集め、軟らかな8本の足(腕)の仕組みを参考にした研究が次々と生まれています。専門家にとっては「インスピレーション(ひらめき)の源」なのだそうです。人工の「タコ足」に情報を入力して足の動きを活用した複雑な計算システムを作ったり、本物のように物に巻き付いて持ち上げるロボットを開発したり……。タコから着想を得た新たな研究に迫ります。



## 「3・11それから」

社会面 6日(金)から

東日本大震災後に毎日新聞で紹介した被災者の「いま」を、春と秋の年2回お伝えするシリーズ「3・11 それから」。2020年春は、母と弟が津波の犠牲になった岩手県陸前高田市の社会福祉法人に勤める男性▽東京電力福島第1原発事故で福島県浪江町の自宅を追われながらも原発と共に歩み、昨年80歳で亡くなった男性▽宮城県石巻市の大川小学校で娘2人を失った夫婦のその後を追います。

## 高齢化で伸びる食品宅配サービス

くらしナビ面 7日(土)

日々の食事向けに、弁当や総菜、調理用の食材を個人宅に運ぶ食品の宅配サービスの利用が伸びています。超高齢社会に伴い、食事の準備にも負担の多い高齢者層に好評だといえます。糖尿病患者向けの糖質制限メニューを用意したり、配達員による高齢者家庭の見守り活動に取り組んだり、さまざまに広がるサービスの現状を紹介します。



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。